

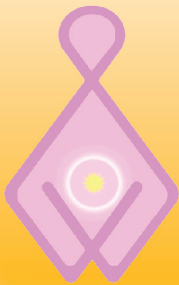


2014～2015年度のRIテーマ  
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)  
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン  
『地域に輝くロータリー』  
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度  
諫早西ロータリークラブ標語



## 『心の火を燃やそう』

第1438例会 2015年6月10日例会記録 NO.43 天候 曇り

【本日】会員数 39名 出席 33名 欠席 4名 休会 1名 出席率 89.18% ビジター 0名  
【前々回】会員数 39名 出席 35名 欠席 2名 MC 2名 出席率 94.73%

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日  
 例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907  
 事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323  
 会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範  
 HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/[info@isahaya-west.com](mailto:info@isahaya-west.com)

「赤色と男性ホルモン」

来年の大河ドラマは真田幸村ですが、真田幸村と言えば赤備え（あかぞなえ）で有名です。戦国時代、鎧兜などの具足、旗指物、槍、太刀などあらゆる武具を朱塗りにした部隊（赤備え）は特に武勇に優れた名将がこれを率いていた。しかし、最初に考案したのは甲斐の武田信玄とされている。信玄の腹心であった勇将飯富（おぶ）虎昌がこれを率い、没後に弟の山県昌景が継承し、長篠の合戦で戦死するまで武田の先鋒を務めた。

源平合戦以来、緋色は華やかな甲冑の基本色です。戦場で目立てば鉄砲や弓矢の標的になりやすいのに、なぜ派手な鎧を着て戦ったのでしょうか。さらに、西洋でもローマ軍団の指揮官は真紅のマントをし、鉄砲の出現後も、一斉射撃をものともせず突撃する英国の歩兵隊や、サーベルをかざして突撃するナポレオン騎兵の制服も紅です。

どうしてこのような不合理な軍装をするのでしょうか。英国の人類学者の研究で長年の疑問が解けた。つまり、彼らは、オリンピックの格闘技（レスリング、ボクシング、テコンドー）でウェアの色を観察したところ、統計的に有意に赤のウェアが勝利したというのです。さらに欧州のサッカーでも同じように赤の勝率が青や白を上回ったというのです。面白いことに、鳥類や爬虫類では発情期の雄の婚姻色は赤で、より派手な色の方が、地味な雄より多くの子孫を残すという傾向がみられる。

ではどうして赤が強いかというと、闘争に深くかわる男性ホルモンであるテストステロン（アンドロゲン）のレベルを上げる作用があるというのです。実際に、トカゲの闘争で勝者と敗者を比較すると、赤い個体はそうでない個体に有意に勝利し、血中のテストステロン値も高いという結果でした。赤い衣装は敵ではなくて自分自身を鼓舞するためだったのです。

交通違反の取り締まりでは、赤い車がスピード違反を起こす率が最も高いそうです。自ら赤い衣装を選ぶという心理傾向を有する人のテストステロンが高く、スピード運転を好むのかもしれません。

ただ、長篠で織田徳川連合軍の弾幕の中に散った山県昌景、そして、家康の本陣を前に刀折れ矢尽きた真田幸村など、赤を身にまとった英雄は栄光に満ちてはいますが、悲惨な最期を遂げることが多いように思われる。勇気は高揚しても、理性的な判断力を曇らせるのが男性ホルモン、あるいは男性という性自体の悲しさかもしれない。

【例会変更】

※諫早北ロータリークラブ

日時：平成27年6月25日（木）18：30～  
場所：ホテルセンリュウ  
※ 最終例会のため

※諫早多良見ロータリークラブ

日時：平成27年6月30日（火）19：00～  
場所：グランドパレス諫早  
※最終例会及び家族懇親会のため

【お知らせ】

※ガバナーエレクト事務所より

「全国ロータリー・ポリオプラスプログラム研修セミナー開催」のご案内

日時：平成27年8月23日（日）  
場所：増上寺（講堂）東京都港区芝公園4-7-35  
登録料：8,000円

※平戸ロータリークラブより

「第36回RYLA」御礼



スマイルボックス

辻本 善樹君：梅雨に入り、みなさま体調をくずさないようをお願い致します。

木村 暢義君：いよいよあと3回となりました。最後まで頑張ってください。

本日の合計(6/10)	累計額
¥12,000	¥1,473,540

クラブフォーラム

① 30周年事業 決算報告（松藤会計）

すべての支払いが完了していないため概況報告となります。予算650万円に対し、現在までの支払いが619万円余で、30万円程の黒字となっています。



## ② 今年度を省みて == 各委員会 ==

### クラブ奉仕委員会（久保委員長）



#### 【前年度事業報告】

##### ●総括

・クラブ奉仕委員会の傘下の親睦、プログラム、会報、会員増強、ロータリー情報、出席、記録保存の7つの小委員会は各委員会の努力の下スムーズに事業が行われたと思います。

##### ●成果&反省

・第2740地区の長崎地区クラブを中心にクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の5大委員会を中心とした組織図が広く採用されていて、現在でも主流であるが、佐世保地区のクラブから徐々にCLP（クラブリーダーシッププラン）を採用したクラブが出来始めている。

・5大奉仕委員会を中心としたクラブでも、大部分は、クラブ奉仕委員会の傘下から、会員増強・会員選考・職業分類・ロータリー情報を除外し、会長エレクトや副会長の監督下に置いているクラブが多い。

・CLP（クラブリーダーシッププラン）は、クラブ管理運営・会員増強・広報・奉仕プロジェクト・ロータリー財団の5大常任委員会を基にした組織図で現在地区の協議会等に採用され研修会が開催されている。

・旧組織図では、地区協議会研修への参加委員会が必ずしも明確ではない。

##### ●次年度への申し送り事項

・現在のクラブ奉仕委員会傘下の小委員会の監督下を再検討するか。CLPを取り入れた組織図の検討が必要になると思われる。

### 職業奉仕委員会（永井委員長）



#### 【前年度事業報告】

##### ●総括

・今年度、地区の職業奉仕委員長方針である、他の奉仕団体とは一線を隔す特徴のある、大事な奉仕部門である基本に沿ってセミナーを受け、会員の皆さんには、ロータリーにおける職業奉仕の意味と、またロータリーの魅力を実感して頂こうと、駒井職業奉仕地区委員長による、部外卓話を実施しました、また5月13

日には、大型客船を建造中である三菱重工業長崎造船所構内見学を含めた職場訪問と近代文化を支えてきた、高島石炭資料館見学及び軍艦島上陸体験ツアーへ奥様を交え36名の会員が参加いたしました。

##### ●成果

・駒井職業奉仕地区委員長の卓話により、会員皆様方にロータリーの根源が大変理解できたのではないかと思います。今後会員増強に繋がるのではないかと、期待したいと思います。

・将来、世界遺産登録予定である、軍艦島への上陸体験ツアーへの参加に多くの会員が参加でき、大変委員会活動も充実し、家族を含めた親睦も深まったことは大きな成果であったのではないかと思います。今回、軍艦島上陸はあいにくの高波により上陸ができず、代わりに軍艦島の全体の島を周回し、船上からの案内により、当時の島民の生活ぶりが説明されました。当時にタイムスリップしたようで、感動し、参加された会員の皆さんには、すばらしい体験ができたかと思えます。

・今回の職場訪問先である、三菱重工業長崎造船所は秋に完成予定である、大型客船の建造中で、普通であれば一般の方の入溝は出来ず、特別の招待により実現しました。当日は会社の歴史を含めたPRビデオにて説明を受けた後に造船所構内見学、並びに構内にある三菱重工業長崎造船所資料館などを見学し日本の近代化に果たした役割などの説明を聞き、会員皆さん真剣に耳を傾け、改めて日本の当時の技術に感銘されたようであります。

### 社会奉仕委員会（毎熊委員長）



#### 【前年度事業報告】

##### ●総括

・今年の社会奉仕事業はロータリーディの一環として、『諫早市内地域への社会奉仕』を目的に、障害者施設のおつくしの里が行う里まつりに参加。会員の皆様から提供品などの協力を得、全参加人数200名。障害者と地域の人々との交流理解を深める事ができた。

ナイス諫早様の情報提供など会員の皆様はもとより、施設の方などの笑顔が写った情報誌は良かったと思えます。

##### ●次年度委員会への申し送り事項

・今回は樹木であれば種をまいたぐらいで後日実をつけ



花をさかせる為に次回の事業へ継続してもらいたいと思います。

#### 国際奉仕委員会（吉田委員長）



##### 【前年度事業報告】

###### ●総括

・思い起こせば辻本年度は、長崎頑張らんば大会・クラブ30周年記念式典と行事が多い年でした。その合間の限られた日で、国際奉仕の事業を皆様のご協力のもと執り行うことができました。

一つ目は11月1日（土）・2日（日）に開催した留学生との交流会。今年度は規模を大きくし、長崎ウエスレヤン大学と長崎総合科学大学とのコラボで開催。留学生24名とロータリアン・ご夫人・その他を含め26名の総数50名で実施いたしました。辻本会長夫人による茶道の体験、スピーチコンテスト、大いに弾んだバーベキューとカラオケ大会。2日目は島原半島歴史探索で留学生には日本の文化や歴史を学習してもらい青春を謳歌してもらいました。

二つ目は11月12日（水）に開催したダービースクールとの交流会事業。長田小学校のご理解で無事終わる事が出来ました。

二つの事業を通して、若者たちが国際的視点を持って成長することを願い本年度の事業報告と致します。

#### ロータリー財団・米山奨学委員会（池松委員長）



##### 【前年度事業報告】

###### ●総括

・消費税増税、地方経済停滞の中、会員皆さんの協力で、まずまずの成果を得られたと思う。

###### ●成果&反省

・当クラブ30周年にあたり、会員の皆さんへ財団への協力をお願いした所、PHF3名、米山奨学会4名、ベネファクター1名の計8名の寄附を頂きました。大変有り難うございました。

・寄附行為、金額だけに目がいき、財団の活動等の宣伝をしておけば良かった。

###### ●次年度委員会への申し送り事項

・寄附はクラブがある限り続くので無理をしない事。

#### 青少年奉仕委員会（塚原委員長）



##### 【前年度事業報告】

###### ●総括

・事業としましては計画通りに遂行できました。

###### ●成果&反省

・ミニバスケットボール大会を実施するにあたり、活動方針であげた通り、全会員の協力を得ることが出来、事故もなく無事に遂行出来た事、それとミニバスケットボール連盟の方や父兄の方々に西ロータリークラブの事を良い方に頂いた事は、よかったと思っています。

・30周年記念事業の一環として、エキシビションを計画する様に言っていましたけど、連盟の方との折り合いがつかずできなかった事は申し訳なく思っております。

#### 親睦委員会（吉次委員長）



##### 【前年度事業報告】

###### ●総括

・今期は創立30周年の記念すべき年度で有り、なにかと忙しかったが全委員の協力により、年間事業計画通り実施出来ました。

###### ●成果&反省

・委員全員一致協力で、活動して頂き、毎回例会時のニコニコ発表当番を決め、委員独自の個性でユニークな発表が出来、又、130万円目標を大きくオーバーし過去最高の実績となり、会長始め会員の方々のお陰だと感謝します。

・私が親睦委員長、又創立30周年記念実行委員長と重複した為、親睦委員会の方々に負担をかけたと思います。

###### ●次年度への申し送り事項

・創立30周年を節目とし、新たな事業計画に期待します。

#### プログラム委員会（清水委員長）



##### 【前年度事業報告】

###### ●総括

・幹事、SAAと連絡を密にし、木村幹事の指導を仰ぎ、無難に消化出来たと思います。

・会員卓話を多くしたいと思っておりましたが、それが出来なくて残念です。

・30周年の式典に向けて多くの時間を取りましたが、式典が大盛会に終わり良かったと思います。